



# 横井 克典 議員 無会派

## 問 ふるさと納税返礼品の開発は 答 皆さまのアイデアを募っていく

- 問 ふるさと応援寄附金支援委託料の業務内容は。
- 答 [総務部長] 寄附の受付業務・寄附金の収納業務・返礼品の配送手配業務など。
- 問 寄附受付サイトはどうか。
- 答 株式会社さとふる。プロモーション業務は、ふるさとチョイス。
- 問 2年目以降のランニングコストは。
- 答 寄附金額に一定の率を乗じた額を委託料として支払う。
- 問 収礼品制度はいつ開始するのか。
- 答 令和2年10月から。
- 問 直近の寄附金額の状況は。
- 答 令和元年度の弥富市への寄附金は、120万円。他自治体に移った市税相当額は、約5963万円。



- 問 今年4月からの寄附金の受け入れ額は。
- 答 100万円。
- 問 今年度1千万円の寄附金受け入れの見込みは。
- 答 ある程度は見込める。
- 問 寄附金の目標額の設定は。
- 答 本年度を踏まえ、より高い目標額を設定していく。
- 問 市民を巻き込んだ新たな返礼品の開発は。
- 答 [市長] 様々な皆さまのアイデアをいただき返礼品を増やしていく。
- 問 市道鍋平27号線の交通量は。
- 答 [建設部長] 調査していない。
- 問 当該道路の危険な状況を把握しているか。
- 答 名古屋方面から弥富市街地への交通量が増加し、道路整備の必要性が高まっている。
- 問 市民等からの歩道設置の要望は。
- 答 平成30年に子宝・坂中地など自治会からの要望あり。
- 問 当該道路の期成同盟会の構成員は。
- 答 本市と愛西市及び蟹江町。
- 問 期成同盟会の活動状況は。
- 【その他の質問】 カメムシ類等による水稻被害への対応策について
- 問 市道鍋平27号線の安全対策を
- 答 県道事業として整備したい
- 問 市道鍋平27号線を県道昇格の上、県事業として建設促進を要望している。
- 問 県施工による歩道設置の見通しは。
- 答 立っていない。
- 問 なぜ、歩道設置が進まないので。
- 答 県において、市内の複数路線の整備を進めているため。
- 問 市単独事業での歩道設置は。
- 答 県事業として整備がふさわしいと考える。
- 問 子宝新田交差点改良工事や信号サイクル変更の考えは。
- 答 [市長] 県に対して交差点改良等を検討してもらい、信号のサイクルを蟹江警察署に相談。
- ▲市道鍋平27号線